



# ジェントルハート通信

No. 39 春号  
発行日 2013.5.20

## 『見えない教室』が子どもの命を追いつめる 理事 大貫 隆志

発行  
NPO法人  
ジェントルハートプロジェクト

事務局  
〒210-0843  
川崎市川崎区小田栄1-8-3 青山  
TEL & Fax  
045-845-3620 (小森)  
E-mail admin@gentle-h.net  
URL http://www.gentle-h.net

会員登録及びカンパは随時受付中  
正会員 1口 2,000円  
賛助会員 1口 1,000円  
郵便振替  
口座番号:00200-8- 111295  
口座名義:ジェントルハートプロジェクト  
振込用紙に会員の種別を明記下さい



### 目次:

|              |       |
|--------------|-------|
| 巻頭コラム        | P 1   |
| 『院内集会』の報告から  | P 2-3 |
| 『青春リアル』に出演して | P 4-5 |
| 活動の報告と今後の予定  | P 6-7 |
| 橋がかかる        | P 8   |
| 新刊のお知らせ      | P 8   |

ジェントルハート通信第39号  
定価100円 (会員は無料)

2013年4月、東京都調布市立小学校の50代女性教諭が2年生の担任生徒に暴言を吐いたことが報道されました。決め手となったのは、保護者が子どもに持たせたICレコーダーの音声でした。レコーダーには、担任教諭のこんな発言が記録されていました。

「皆さんはやっぱり頭の動きが悪いせい時間か二倍かかります、勉強に！1年生の時にいつも遅刻していて朝の支度ができなかったのもわかる。頭の動きが悪いです」

「動物じゃないんだから、言葉で質問されたら言葉で返そうよ。ねえみんな、みんなもねえ、反応遅いのはダメだよ。人間やめてくださいといっしょだよ」

この教諭による暴言などの不適切な指導は、実は担任となった12年の4月から続いていたといいます。下痢や腹痛、嘔吐などで登校をいやがる子どもが続出し、7月には保護者からの訴えで校長を交えた保護者会も開かれていました。しかしその場では、暴言などの指摘を担任教諭は真っ向から否定しました。学校の消極的な対応に不信感を募らせた保護者が、子どものカバンにICレコーダーを忍ばせて、前述のような動かぬ証拠をつかみ、それが、今回の報道へと結びつきました。

実はこの教諭は、前任校でも同様の事件を引き起こしており、児童を不登校へと追い込んでいました。その際も保護者らの訴えで学級担任を外れ、研修施設で指導を受けましたが、またも同様の事件を起こしてしまったのです。

調布市立小学校の事件は大きく報道されましたが、私は同様の事件

は珍しいことではなく、どの市町村でも起こっていると考えています。それは、保護者から寄せられる相談に、同じような事案が少なくないからです。

教室は密室であり、そこで起きていることはなかなか表面化しません。だからこそ、不適切な指導も、いわゆる「体罰」も、いじめも、幾重ものオブラートに包まれてしまうのです。

調布市立小学校の事件は、「密室」が二度「公開」されたことによって、ようやく問題化されました。一度目の「公開」は、「ICレコーダによる記録」です。これによって、教室のできごとが「客観的な事実」となりました。そして二度目は、事実が報道され広く一般の常識にさらされたことによるものです。この「公開」が行われなければ、この教諭は、身内に甘い教育行政の対応により、同様の事件を繰り返す可能性もあったと思われます。これは大阪市立桜宮高校で、部活動の顧問教諭による暴力的指導が繰り返されたことから明らかです。

この事件は、一義的には担任教諭によって引き起こされていますが、「身内に甘い対応」と「教室の密室性」によって温存されてしまった学校教育の負の遺産といえます。教室を「何が起こっても不思議ではない密室」から最低限「子どもの安全は保証される」空間へと改質することは、もはや待ったなしの優先事項なのです。



## ◆ 尾木先生のお話から(院内集会報告) ◆

去る4月9日に参議院議員会館においていじめ問題院内集会を行いました。当日は多くの国会議員の先生方やマスコミ関係の方が参加されました。今号では教育評論家の尾木直樹先生にお話しいただいた内容をご紹介します。大津の第三者調査委員会の件をはじめ、多くの示唆に富んだお話をお聞きすることができました。

教育評論家の尾木直樹です。今日は評論家の立場からお話したいと思います。

今、ジェントルハートのご遺族の方々のお話をきいて、一人の教師として本当に恥ずかしくなりました。なぜかという実はこのあいだ大津のいじめ問題の報告書を231ページにまとめて出しましたけれども、そこで私が調査に入って感じたことと全く同じなんです。文部科学省は1984年からいじめの定義をして調査に入ったりしているんですが、この30年間一体何をやってきたのかという問題なんです。

結論から言いますと、今、議員で立法化の動きがあるというのは僕は本当に期待していますし、なんとしても早く皆さんで合意できる良いものを作ってほしいというのが願いです。本当にこれまで何千人死んでいるかわからない。大変なことなんです。僕は日本ほど子どもの命を粗末にして、子どもを守ってくれない国はないと思います。だって柔道で亡くなっている問題にしても、年間4人は死んでいるんです。

例えばフランスなんか柔道を必修科目で取り入れる学校もありますが、一人も亡くありません。そこでは基本的に金メダルを取った人でも中学生を教えることは出来ないんです。研修をきちんと受けて対応能力を持った人でないと教えることは出来ません。例えば柔道・剣道の問題にしても日本は本当にでたらめだと思います。これは善意に頼る対応とか、それだけでは乗り切れる問題ではなくて、子どもを守る、命を守る、安全・安心な学校というのは親の最低の願いです。

昨日始業式で学校が始まりました。初日から僕のブログに続々と入ってくるのは『不登校でまだ行けない』とか『学校が怖い』とか『先生が守ってくれない』そんなことばかりです。『オギプロ』というのを見ていただければみんな書き込んであるので、わかると思います。

もういい加減ここでキリをつけたい、やっぱり大人が毅然として社会の全体的な世論として『いじめは許さない』『良くないんだ』『そのためには大人もきちっとしますよ』ということを発信し、学校で何とかしなさいと言うだけでなく、具体的に『いじめの対策委員会を設けなさい』とか『いじめの防止計画を作りなさい』というふうにきちんと義務化しなければだめだと思います。

ちなみに先ほど『亡くなった子どもより目の前の子どものほうが大事』だと言われたという話がありましたが、同じことを大津の先生も言いました。あまりにも平然として対応されているので腹が立ちました。聴き取りのための調査委員会でしたが、さすがに教師魂が出てしまって『亡くなった子どものこと何でそんなにちゃんと受け止めないんですか』と言ったら返ってきた言葉が『亡くなった子どもと目の前の子どもとは、目の前の300人 900人

が大事です』と明確におっしゃっていて、これは記録に残ってしまうんですよ。そんなこと言っているのかと思うほどびっくりしたんですけれど、それがすでに何年も前から言われているというのが本当に恥ずかしいと思いました。

それから隠蔽体質というのもすさまじいもので、困難を突破して私たち6人の委員が学校の視察に入ったときに、校長室で校長先生から話を聞いていたら、ちょうど生徒たちがドーッと校長室の前の廊下に押しかけてきて、何かつぶやいているんですね。一生懸命みんなが明確に何かを言っているんですね。耳をそばだてて聞いてみると『尾木ママ隠蔽されないで』『尾木ママ隠蔽されないで』と校長室の前で叫んでいるんです。このように子どもたちに隠蔽されないと言われることは、隠蔽しているということを知っているわけで、そこでは教育は成り立たないんです。教科の学習も成り立ちません。道徳教育や生活指導ももちろんですけども、崩壊状況なんですよ。そこに全然メスが入っていかない。救いの手を差し伸べることが出来なかったということが本当に辛かったです。帰りが人垣に取り囲まれてしまって『大丈夫。絶対に隠蔽されないからね。』と言って握手しながらようやく人垣を通り抜けて学校を後にするような状況で、本当に生徒の切実な声とアンケートに書かれた900人の声を無視して、いい加減な調査など出来なかった。

大津の第三者委員会は当初8回と言われていたのに、実際には52回くらいの活動になってしまった。僕は東京から21回も大津まで通いました。

こんな事態になっていったのは『子どもの声に応えなければいけない』。生の声を知ったら誰だって動かざるを得ないんです。学校の先生は900人のアンケートを読んでいる。だから平然と『今の目の前の子どもが大事』だと言ってしまう。

隠蔽するだけではなくて捏造までしてしまった。この捏造が学校・教育委員会レベルでされてしまう。隠蔽だけではないんですよ。お父さんの暴力が自殺の原因だったということを作り上げてしまう訳です、しかも専門家のスクールカウンセラーを巻き込んでなんですよ、あり得ないんですよこんなことは。

一人一人の先生方やカウンセラーの先生はものすごくいい人なんですよ。ところが何であの学校というところになってしまうと、あるいは教育委員会になるとこんなに犯罪集団になってしまうのか、子どもの命を守らないのか。学校が最も安全で安心でない場所に変質してしまっている。

これを救済できるのは社会の目、特に国会議員の先生方の力が重要だと思いますのでよろしくお願ひした

い、というのが一つですね。

そういう中でも大津が変わり始めました。いじめ問題は  
大津から切り替え始めたよという風を起こそうと越市長も  
おっしゃっていますし、大津市もいじめ対策の予算をい  
くらつけたかという3億4千万です(「広報おつ4月1  
5日号」より)。それで何をやったかという養護教員の  
複数配置、これは僕たちが要求しました。こんな状況  
じゃ無理だということで教員を増やせと要求して増やし  
ました。それからいじめ対策担当教員を置きました。こ  
れはいじめの主任教諭のようなもので、兼務ではなくて  
専属です。

さらにそのためにその先生の授業のコマ数を減らした  
りしなければいけないから教員増に入っていました。  
そしていじめ対策推進室など子どもをいじめから守る委  
員会等がすぐに機能し始めました。報道でご存じだと思  
います。

このようにして、今回の1985～6年から始まって、今4  
回目のいじめのピークを迎えているんですが、ここで日  
本の戦後の教育史でいじめ問題は100%ではないとし  
ても、解決の方向に向かって、少なくともいじめで自死  
をする子がいない国にしたという歴史的転換点にしてい  
ただきたいと思います。

学校はこれまで30年間何をやってきたかという、正  
直言っていじめ対策は何もやってこなかったんです。  
いじめが起きたときにどう認識で介入してストップさ  
せるかといった検証など行われたことはないんです。で  
すからスキルを持っていないのもあたりまえです。今  
日の僕のブログに書き込んでくれた方は、「これはいじ  
めではない」「遊んでいるんだ」と相手も言っているんだ  
からいじめだと思お母さんのほうがおかしいんだと学  
校に言われてしまったと言うんです。文部科学省の200  
6年の定義でも「いじめられた子がしんどい思いをしたら  
いじめなんだ」と定義が変わっているのに、まだ現場は  
全く変わらない。それで苦しんでおられるんです。「遊  
びだと思え」そんな馬鹿なこと、大津の時だって「プロ  
レスごっこで遊んでいた」と、いまだに加害者は思っ  
ているわけです。まだ加害者は裁判で闘っているんです。  
あり得ないですよ。ですからいじめ問題の解決が難し  
いのは、いじめている子がみんな遊びだと思っている、  
しかも3年前の国立教育政策研究所の発表ではいじめ  
に関わった「いじめられた子」が90.3%で、「いじめをし  
た子」88.9%、小学4年生の子が中学3年卒業までの  
6年間ずっと年2回の調査を12回行いました。かなり残  
酷な調査です。だって「いじめられている」にマルをし  
ても誰も救ってくれないんですから。あんな調査はやる  
べきでないと思いますが、それでかなりの子がいじめに  
関わっていることがわかったわけですよ。そのなかで  
「いじめ加害者に厳罰を」あるいは「出席停止を」とい  
うのは100%間違いではありませんし、そういう場合もある  
けれど、ほとんどの場合学校閉鎖しなければならなくな  
る。生徒がいなくなりますよ。「加害者側のこころの問  
題」なんですから、こころが豊かになるような学校作りを  
しなかったらいじめの克服はあり得ない訳です。

加害者を出席停止にすると書いていた品川区で、去  
年の9月に教育長がおっしゃった2～3週間後にいじめ  
自殺が起きましたね。あの一事を見てもわかるんです。  
出席停止にしようと思ったら加害者の数もわかっていた  
んですから、30何人出席停止にしなければならなかつ  
たんです。

そんなことで、社会全体の人は何とかいじめを無くそう  
と思って息んで下さると、そこへ行ってしまふんです。あ  
るいは道徳教育を一生懸命やればいじめは無くなるか  
など僕らも一瞬思いますよね。だけど大津のあの学校は  
文部科学省の道徳教育の研究指定校を2年間連続で  
やっていたんです。「ストップいじめアクションプラン」と  
いう行動中にあの事件が起きたんです。だから単純に  
道徳教育を強化していじめが無くなることにはつながら  
ないんです。

それでは何が必要かということで、「いじめ防止の全体  
像」を描いてみました。

やはり学校というのは「人権」とか「愛」とか「ロマン」ま  
た民主主義的な市民になるための「市民教育」というも  
のが土台にドンと理念として渦巻いていて、ムードとして  
ある。これは教育学の用語では「ヒドゥンカリキュラム」と  
言います。目に見える

『理科』『社会』『数学』といった教科とか、あるいは科目  
とは違って、ムードです。「人権は尊重しなければいけ  
ない」とか、あるいは「愛情深くお互いに許し合ってい  
かなければいけない」とか「ロマンを求める」とか「市民  
社会をどうやって日本は構築していくのか」といったよう  
なものがあるところで「受容と寛容の精神」とか、「学校全  
体で体罰とか尊厳を傷つけるようなペナルティーを無く  
そう」とか、そして権利としての「子ども参加」です。子  
どもを参加させないで、どうして子どもに責任をとらせ  
ることが出来るのか、子どもの参加抜きにはあり得ないこ  
とです。

それから市民教育としての法律の学習。子どもたちが  
今やっているいじめのほとんどが犯罪です。大人だつたり、  
市民社会だったら完全におまわりさんに捕まって罰  
金だとかいろいろな刑を受けなければいけないことであ  
るという教育もしなければならぬでしょう。

それに基づいて、学校全体ではいじめ報告に対して  
どのように動いていくのかということを考え、直接的にア  
プローチすべき課題と間接的にどうすれば良いのかと  
いうことを分けました。これも学校全体がそのように動か  
ないときに先生方が何をすれば良いのか、直接のところ  
は個人でも動けるからということで敢えて分けました。次  
に学級では何が出来るかということで、「個別の子ども  
たちへの対応」とか「学級の作り方」というものを作りまし  
た。それで一番最初に個人対応をどうすべきかとい  
うところで直接的アプローチと間接的なアプローチに分  
かれています。そして総合的にこれらの計画(ビジョン)を  
それぞれの地域の特性に合わせて作っていくべきだと思  
います。こういうものを作った上で具体的にどんな風  
にいじめ対策委員会につなげていくかを考える。

教師は当然ですが、地域の方が入ったり、保護者の

代表が入ったり、人権擁護委員の方が入ったりして、今大津が動き始めました。一つの事例を作り始めてくれています。

そういう人たちが入って「いじめの対策委員会」と「いじめ防止計画」という「実際に動いていく委員会」と「プラン」の2つの部分、車で言えば両輪にあたる部分は絶対に入れなければいけないと思います。

これが入れば、学校は動かざるを得ない。そして先生方の良心に火がつきます。

元々そんな変な人たちじゃないんです。みんないい人たちなんです。そこのところの「良心」とか「教師魂」に火をつけてこれが機能していった時に、僕はいじめを早期に発見して、そして子ども参画でやるというのがポイントだと思います。あらゆるところに子どもが参加する。大人が行き詰まっても子どもが良い知恵を出してくれます。「先生こうすれば良いんだよ」と教えてくれます。

大津のいじめでも先生方はみんなわからないと言っていますが、子どもたちはわかっていました。それは雰囲気わかります。空気が変わるんです。

だから子ども参画で子どもの声を聞きながら、レベルも方法も色々あると思うんですが、それを駆使しながらいかにして「いじめ防止計画」を持ち、委員会がきちっと組織され、それが機能していくのか。そこが子どもの駆け込み寺になる機能もあるでしょう。

重大な事案についてはまた別の委員会が動くべきだろうし、恒常的には全国全ての小・中・高等学校にこういう組織を作るべきだと提案したいと思います。

そうしたら大津の先生方だってちゃんと人間らしいところがもっと全面的に出たのにと 생각합니다。僕は決して敵視はしていません。本当に教師魂を持っていると信じています。

## ◆ NHK Eテレ『青春リアル』に出演して ◆

## 理事 篠原 宏明

2月28日放送の有った、NHK-Eテレ『青春リアル』という番組スタッフの依頼で、私は“親世代”として始めてトピックを上げました。この番組は、「トピック主」が番組サイトに問題提起をし、その問題について番組の視聴者が意見を寄せるといった内容です。番組のテーマはずばり「いじめを止めたい」。今回、私は大人として、そして遺族として、番組を観ている10代の子どもたちに次のようなトピックを上げて、意見を求めました。

【いじめでつらい思いをしているあなたへ。私たち大人に、皆さんが望んでいることを教えてください】  
(いじめが原因で亡くなった息子は、最期まで苦しみを打ち明けてくれませんでした。あなたは、いじめられているつらさを大人に話せますか？話せない人は、どうすれば話を聞かせてくれますか？私たち大人に、皆さんが望んでいることを教えてください)

このトピックに対し、全国各地の子どもたちから200件を超える回答が番組に届きました。そこには、私たちが全く想像もしていなかったような、子どもたちの生の叫びがありました。いくつか抜粋しますので、皆さんも一緒に考えてみてください。

千葉県 えりか (17歳) 女性

私は「いじめられて辛い」と知ってもらいたくて親に話しました。「いじめを無くしてほしい」と思って話したのではありません。話したあと、親は学校には連絡はしなかったものの、私が学校から帰ると毎日たくさんの質問をし、隠れて荷物まで見られるようになりました。こんなことなら、言わなきゃ良かったと今でも思っています。

岩手県 匿名 (10代前半) 女性

いじめられている子にとって、大人に話すことは「やってはいけないこと」なのです。話したら、もっと酷い目にあ

てしまうから。話したら親も心配してしまうから。いじめている側の親だって悲しむし…。子供には子供なりの考えがあるんです。親は黙って子供を見守ってあげてください。

新潟県 あーちゃん (19歳) 女性

私は、このような「いじめが当たり前な世界」を作った大人が悪いと思います。子どものSOSに気づかないから、いじめは繰り返されるんだと思います。まず親が率先して子どもの心に溶けこみ、話せる環境を作ることが、自殺をなくす手段の一步かもしれないと、私は思います。

愛知県 さくさく (15歳) 女性

中学の時、私は部活の中の同級生から悪口を言われたり、無視をされたり…。次第に部活から足が遠のいた。いつもとは全然違う時間に帰っているのに、親は気付かなかった。家にいる時はいつでも“笑顔の仮面”をつけるようになった。親は私が中学時代から、学校が大好きな子だと思っている。今でも私は笑顔の仮面を外せない。

大阪府 星羅 (16歳) 女性

小学校の高学年から、ずっといじめられています。何度もリストカットしました。私は母に心配して欲しかっただけなのに「何バカな事やってるの！」と怒り、私を叩きました。学校にも相談しましたが状況は全く変わらず、どんどんひどくなりました。カバンを蹴られ、筆箱や持ち物をゴミ箱に捨てられ、机に死ねと彫られたり、髪の毛を引っ張られたり。でも、先生は何もしてくれませんでした。それ以来、私は母や先生を含め、大人を信用できなくなりました。

宮城県 爽 (15歳) 女性

私は、震災で母を亡くしました。震災前までは、つらいこ

とは母に相談をしていましたが、今は誰にも悩みを言えません。学校では、「しっかり者だね」と、先生や友達に言われます。その言葉やイメージが大きな重荷になっています。耐え切れずリストカットをしたときも、父には「それどうしたの？病院とか行かなくていいの？」とそっけなく言われました。このひと言は、遠回しに「あんた、頭イカれてるんじゃないの？」と言われた気がして、すごく傷つきました。

福岡県 はるか (10代前半) 女性

いじめって、いじめられている時だけじゃなくて、いじめが収まってからも、心はバラバラになっているから、心が元に戻るのには難しいと思う。私は、人が自分以外の悪口言っている、悲しくなるし辛くなる。他の人には些細な事でも、心に突き刺さってしまう。一度、自殺未遂までしたから、今でも何かあれば、死んだら楽になれるかなって考えちゃう。

神奈川県 みく (10代前半) 女性

中学1年生の秋、不登校になりました。親には「何かあったの？」と聞かれましたが、何も話しませんでした。私は親に自分の気持ちなどを言いたくありません。父は「そんなの言い返せ」としか言わないし、母は「頑張り」としか言いません。どんなに辛くても、聞こえてくる言葉は重みのない同じ言葉。それがどれだけ残酷か、大人には分からないのです。「大人＝偽善者」です。これからも大人には何も言わないと思います。

新潟県 樹 (10代前半) 女性

「チクった」とか言われて余計ひどくなるのも怖いですが、相談する＝いじめを認める＝いじているヤツらに負けるみたいな考えが、自分の中にあっただけです。負けるくらいなら、我慢した方がマシ…見たいな感じでした。言ったあとは、「負けてもそんなに苦しくないじゃん」って少し後悔しましたが。

東京都 萌夏 (18歳) 女性

いじめられていた時、スクールカウンセラーに相談したことがあります。相談した内容は、担任の先生に伝わり、職員室の先生たち全員に知られてしまいました。スクールカウンセラーは「私には守秘義務があるから、ここでの相談は他の人にはしない」と言っていたのですが、教員から「スクールカウンセラーに相談した内容のことで話を聞かせてほしい」と言われたときには愕然としました。

神奈川県 真帆奈 (18歳) 女性

私がいじめを受けて、最初に助けを求めたのは担任の先生でした。先生は助けると言ってくれましたが次の日「あのお母さん面倒な人だから、真帆奈が我慢してくれ」と私に頼み込んできました。それから私は信じるのが怖くなりました。

私は大人を信じていません。理由はただ1つ、「大人はウソつき」だから。特に学校関係者の人は、本気でいじ

めをなくそうと考えているのか？私はそこに不信感を抱きます。

茨城県 山ちゃん (18歳) 女性

中1の秋ごろから、保健室登校になっていました。学校もいじめの事実を認めないどころか、隠ぺいばかりしていました。兄弟からも心配してもらえず、顔を合わせれば「保健室登校なんかして恥ずかしい。ちゃんと教室に行け。」と言われ続けました。私が何よりも許せなかったのは、みんながいじめの事実を認めてくれなかったこと、つらさを理解しようとしてくれなかったことです。

埼玉県 パンダ (10代前半) 男性

子どもに「今、いじめられている」って言われたら、大人はどういう対応をしますか？何もできないですよね？だから子どもは言わないんだと思います。教師に言っても、「これから気をつけます」と他人事みたいに言って逃げられて…。結局は生徒が自殺してから、ようやく動き出すなんて。大人のあなた達がそんな社会を作ったと、きちんと自覚していますか？

岡山県 こんちゃん (17歳) 女性

高校に入学してすぐ、いじめられました。でも先生は見えて見ぬふり。せっかく入学できたのに1ヶ月後には自主退学するしかありませんでした。保健室で倒れたりもしました。声も出せなくなった。でも大人は何もしてくれなかった。「いじめた者には停学・退学などの処置をとる」と校則に書いてあるのに、教師は「それはできない」の一点張り。何で大人は私たちの話に耳を傾けないんですか？何で大人は事実を知ろうとしてくれないんですか？

いかがでしょうか。私たちが想像する以上に、子どもたちは誰にも悩みを相談できず、苦しんでいるのがお分かり頂けたと思います。“話さない”のではなく“話せない”のです。まずは私たち大人が襟を正し、子どもたちと真剣に向き合うことから始めなければならないのではないのでしょうか。

(子どもたちの投稿は、読みやすくするため、本文の一部を抜粋して若干の修正を加えています)



【青春リアルより 篠原宏明・真紀】

## ◆ 活動のご報告と今後の予定 ◆

| 日付        | 主催者                   | 都道府県 | 都市   | 人数  |
|-----------|-----------------------|------|------|-----|
| 2013/5/14 | やまなし人権啓発出前講座          | 山梨   | 甲斐市  | 160 |
| 2013/5/15 | 大田区教育研究会教員研修          | 東京   | 大田   | 500 |
| 2013/5/25 | 神奈川県子ども未来ファンド10周年記念事業 | 神奈川  | 横浜   |     |
| 2013/5/28 | 滋賀県教育委員会 10年経験者研修     | 滋賀   | 大津   | 160 |
| 2013/5/28 | 南足柄市教育委員会             | 神奈川  | 南足柄  | 50  |
| 2013/5/29 | 神奈川学園中学校              | 神奈川  | 横浜   | 240 |
| 2013/5/31 | 香芝市立香芝北中学校            | 奈良   | 香芝   | 870 |
| 2013/6/1  | 2013神奈川県キリスト教学校展      | 神奈川  | 横浜   | 300 |
| 2013/6/1  | 野田市人権擁護委員の日           | 千葉   | 野田   | 130 |
| 2013/6/3  | 独立行政法人教員研修センター指導者養成研修 | 広島   | 広島   | 80  |
| 2013/6/5  | 独立行政法人教員研修センター指導者養成研修 | 福岡   | 福岡   | 80  |
| 2013/6/5  | 幼・小・中 PTA指導者人権教育研修会   | 岡山   | 岡山   | 300 |
| 2013/6/6  | 長岡市立西中学校              | 新潟   | 長岡   | 230 |
| 2013/6/7  | 郡山中学校                 | 奈良   | 大和郡山 | 890 |
| 2013/6/11 | 私立尾山台高等学校             | 石川   | 金沢   |     |
| 2013/6/12 | 大阪狭山市立第七小学校           | 大阪   | 狭山   | 550 |
| 2013/6/13 | 幼・小・中 PTA指導者人権教育研修会   | 岡山   | 岡山   | 100 |
| 2013/6/14 | 川崎市立今井小学校             | 神奈川  | 川崎   | 450 |
| 2013/6/14 | 彦根市城西小学校PTA           | 滋賀   | 彦根   | 220 |
| 2013/6/15 | 佐野日本大学高等学校            | 栃木   | 佐野   |     |
| 2013/6/17 | 熊本市立楠中学校              | 熊本   | 熊本   | 500 |
| 2013/6/18 | 幼・小・中 PTA指導者人権教育研修会   | 岡山   | 岡山   | 200 |
| 2013/6/18 | 三条市立栄中学校              | 新潟   | 三条   | 360 |
| 2013/6/18 | 社会人権教育中央研修会           | 千葉   | 千葉   | 70  |
| 2013/6/19 | 野田市立川間中学校             | 千葉   | 野田   | 350 |
| 2013/6/20 | 長岡市立与板中学校             | 新潟   | 長岡   | 360 |
| 2013/6/21 | 生駒市教育委員会              | 奈良   | 生駒   | 300 |
| 2013/6/21 | 魚沼市立小出中学校             | 新潟   | 魚沼   | 400 |
| 2013/6/21 | 船橋市立二宮中学校             | 千葉   | 船橋   | 860 |
| 2013/6/22 | 武蔵野市立第六中学校            | 東京   | 武蔵野  |     |
| 2013/6/23 | NPO法人CAPいずみ           | 大阪   | 泉大津  | 100 |
| 2013/6/24 | 鎌倉市立関谷小学校校外委員会        | 神奈川  | 鎌倉   | 80  |
| 2013/6/25 | 栃木県教育委員会人権研修会         | 栃木   | 矢板   | 240 |
| 2013/6/26 | 野田市立福田中学校             | 千葉   | 野田   | 280 |
| 2013/6/27 | 滋賀県立大学人間文化学部          | 滋賀   | 彦根   | 140 |
| 2013/6/28 | 港区教育委員会「いじめ防止に関する講演会」 | 東京   | 港    | 250 |
| 2013/7/2  | 野田市立北部中学校             | 千葉   | 野田   | 420 |
| 2013/7/5  | 倉敷市立粒江小学校             | 岡山   | 倉敷   |     |
| 2013/7/9  | 薩摩川内市立手打小学校・海陽中学校     | 鹿児島  | 薩摩川内 | 125 |
| 2013/7/10 | 霧島市立横川中学校             | 鹿児島  | 霧島   | 200 |
| 2013/7/11 | 霧島市立木原中学校             | 鹿児島  | 霧島   | 50  |
| 2013/7/12 | 霧島市立国分中学校             | 鹿児島  | 霧島   | 600 |

| 日付         | 主催者                  | 都道府県 | 都市  | 人数    |
|------------|----------------------|------|-----|-------|
| 2013/7/16  | 姫路市立香寺中学校            | 兵庫   | 姫路  |       |
| 2013/7/17  | 野田市立二川中学校            | 千葉   | 野田  | 280   |
| 2013/7/18  | 井原市立美星小学校            | 岡山   | 井原市 | 80    |
| 2013/7/25  | 千葉県子ども人権委員会          | 千葉   | 千葉  | 90    |
| 2013/7/26  | 堺市人権教育研究会            | 大阪   | 堺   | 1,700 |
| 2013/8/1   | 合志市教職員研修             | 熊本   | 合志  | 400   |
| 2013/8/2   | 徳島県青少年対策本部           | 徳島   | 徳島  | 300   |
| 2013/8/3   | 全国神社保育団体連合会          | 宮城   | 岩沼  | 100   |
| 2013/8/7   | 京都市教育委員会生徒指導研修       | 京都   | 京都  | 400   |
| 2013/8/8   | 松阪市教育委員会教職員研修        | 三重   | 松阪  | 50    |
| 2013/8/9   | 日教組北陸ブロック養護教員部学習会    | 福井   | あゆら | 200   |
| 2013/8/20  | 滋賀県教育委員会 生徒指導担当教員研修  | 滋賀   | 大津  | 420   |
| 2013/8/21  | 滋賀県日野町教育委員会夏季研修会     | 滋賀   | 蒲生  |       |
| 2013/8/21  | 滋賀県教育委員会 2年目研修       | 滋賀   | 大津  | 80    |
| 2013/8/22  | 湖南省教育委員会人権啓発講座       | 滋賀   | 湖南  | 100   |
| 2013/8/23  | 甲賀市教職員研修             | 滋賀   | 甲賀  | 600   |
| 2013/8/28  | 津市教育委員会教育研修会         | 三重   | 津   | 1,500 |
| 2013/8/31  | 兵庫県民間教育団体連絡協議会       | 兵庫   |     | 50    |
| 2013/9/1   | チャイルドラインすぎなみ         | 東京   | 杉並  |       |
| 2013/9/7   | 藤嶺学園藤沢中学校            | 神奈川  | 藤沢  | 150   |
| 2013/9/26  | 光市立光井中学校             | 山口   | 光   |       |
| 2013/10/3  | 倉敷市立児島小学校            | 岡山   | 倉敷  | 180   |
| 2013/10/5  | 読売文化フォーラム            | 富山   | 高岡  | 300   |
| 2013/10/6  | 読売文化フォーラム            | 石川   |     | 300   |
| 2013/10/16 | 香取市立栗源中学校            | 千葉   | 香取  | 70    |
| 2013/10/22 | 玉野市立荘内中学校            | 岡山   | 玉野  | 450   |
| 2013/10/23 | 美作市立美作北小学校           | 岡山   | 美作  |       |
| 2013/10/26 | 倉敷市立福田南中学校           | 岡山   | 倉敷  |       |
| 2013/10/29 | 川崎市立上丸子小学校           | 神奈川  | 川崎  | 350   |
| 2013/10/31 | 鳥取県立岩美高等学校           | 鳥取   | 岩美郡 | 300   |
| 2013/11/12 | 米子市立福米中学校            | 鳥取   | 米子  | 600   |
| 2013/11/13 | 津山市立鶴山小学校            | 岡山   | 津山  | 80    |
| 2013/11/15 | 守山市立守山市立中洲幼稚園PTAつくし会 | 滋賀   | 守山  | 45    |
| 2013/11/16 | 長浜市立浅井中学校            | 滋賀   | 長浜  | 650   |
| 2013/12/2  | 横浜市立釜利谷南小学校          | 神奈川  | 横浜  | 400   |
| 2013/12/4  | 東海大学付属熊本星翔高等学校       | 熊本   | 熊本  | 1,200 |
| 2013/12/5  | 総社市立総社東中学校           | 岡山   | 総社  | 1,000 |
| 2013/12/10 | 真鍋市立勝山中学校            | 岡山   | 真鍋  | 250   |
| 2013/12/12 | 熊本県立玉名高等学校           | 熊本   | 玉名  | 1,200 |
| 2013/12/14 | 南足柄市人権講演会            | 神奈川  | 南足柄 | 290   |
| 2013/12/15 | 日本小児科学会いじめ問題ワークショップ  | 愛知   | 名古屋 |       |
| 2013/2/8   | 全教滋賀教職員組合教研プロジェクト    | 滋賀   | 米原  | 70    |
| 2014/2/12  | 岡山少年院                | 岡山   | 岡山  | 60    |
| 2014/3/13  | 静岡県立小山高等学校           | 静岡   | 駿東郡 | 360   |

## ◇ 橋 が か か る ◇ ひととひとの出会い、そこにかかる橋

ここは毎回ジェントルハートプロジェクトに関わる方々の思いなどを自由にお書き頂くコーナーです。今回はNHK Eテレ ディレクターの小堀友久さんにお願しました。

## “わからない”からスタートすること

NHK 制作局 青少年・教育番組部

ディレクター 小堀友久

「小堀さんに、いじめられる人の本当の辛さがわかりますか？」

いじめられた経験のある高校生にインタビューをしているときに、逆に投げかけられた一言です。私は、絶句してしまいました…。もちろんそれまでに、いじめの体験談や書籍を通して、辛い気持ちを“読んで”はいました。しかし、「本当の辛さがわかるのか？」と問われて、私は明確に答えることができませんでした。その日は「考えさせてほしい。」と伝えて、その高校生の家をあとにしました。

私が「いじめ」について取材するようになったのは、去年の9月。「青春リアル」という番組の担当になってからのことでした。冒頭の出来事は、取材を始めてほんの2、3週間後のことだったと思います。悩みました…。その高校生だけでなく、「いじめ」というものを自分は取材していくことが許されるのか、悩みました。そして自分なりに出したのが、「“わからない”ことから始める」ということでした。「いじめ」については、あまたの書籍が出され、あまたの専門家がいます。しかし、完璧な“答え”はなく、悲劇が繰り返されています。だからこそ、“わからない”ことを起点に、常識を疑い、新たな発想を考えていくことが大事なのではと、思うようになったのです。冒頭の高校生とは、正直にそういったことを話し合いました。そして、私自身も含めて“わからない”人たちに、どうすれば伝わるのかを共に考えながら、取材を進めていくこととなりました。

その姿勢は、その後、篠原宏明・真紀さん夫妻を取材させていただくことになって、ますますその重要性を感じる事となりました。なぜなら、ご子息・真矢(まさや)くんには、“わからない”ことがたくさんあったからです。中でも、番組の軸となった「なぜ、子どもは辛い気持ちを話さないのか。」という問い。一般的には「子どもにもプライドがある

から。」「親を心配させたくないから。」などと言われます。確かに、そういった側面もあるかもしれない。しかし、それで済ませてよいのでしょうか？これも“わからない”ということを基本に、篠原さん夫妻と共に考えながら取材を進めました。すると、新たに気づくこともあったのです。例えば「“子どもは元気に学校に行って普通。ウチの子どもがいじめられているわけがない”という親や先生の思い込みが、子どもの口をふさいでしまう。」ということ。「子どもが話さない」のではなく、「子どもに話させない」大人の価値観こそが問題なのでは、と視点を変えさせてくれる発見でもありました。

「“わからない”からスタートすること」への気づきは、私の日常生活も変えました。例え毎日を過ごす家族であっても、どんな辛さを抱えているか“わからない”。だから、お互いに辛い気持ちを吐き出せる雰囲気が必要だし、そのためには「辛いことには、一緒になって立ち向かう」というメッセージを、常に伝えなければならないと考えるようになりました(妻からは、???が飛んできそうです)。このことにもっと早く気づいていればと、悔やんでも悔やみきれないこともあります。

「青春リアル」からの縁あって、現在、私は、NHK史上初めて「いじめ」だけをテーマにした教育番組「いじめをノックアウト(NHK Eテレ 毎週金曜 午前9時50分～)」を担当しています。これも、ありきたりの“答え”を伝えるのではなく、番組をきっかけに教室で考え合うことで「いじめを解決できるクラス」を目指してもらおうというものです。制作者自身も、書籍や専門家の方からの知識を参考にしながらも、迷いながら、悩みながら取材をしています。今後も決して「いじめのことはわかる」などと思いがることなく、常に新しい発想を探して取り組んでいきたいと思っています。もし、お世話になる機会がありましたら、ぜひ、小堀の“わからない”にお付き合いいただければと思います。

## 新刊のお知らせ

このたび、理事の小森美登里と大貫隆志の新刊が刊行されました。是非お手にとって内容をご覧ください。



『いじめのない教室をつくろう』 小森美登里 著 WAVE出版

定価 1,260円(税込) ISBN-13: 978-4-87290-622-6

『指導死』 大貫隆志 編著 高文研

定価 1,785円(税込) ISBN13: 978-4-87498-513-7

指導死